

CONTENTS

- 2 情熱の奥州人

4 特集 東北地方太平洋沖地震

10 23年度 施政方針・教育行政方針

13 市の出来事から

14 23年度予算のあらまし

16 市子育て総合支援センター「こっころ」がオープン

18 パークヒル向山宅地分譲

市有地等分譲補助金

住宅リフォーム補助

19 在宅介護支援センター

20 狂犬病予防接種

21 図書館だより

22 保健日程

24 子そだて広場

わが家のアイドル

25 交通安全情報

市長コラム「おうしゅう羅針盤」

子ども喜ぶ人気メニュー

26 キラリ人輝く
夢トーク

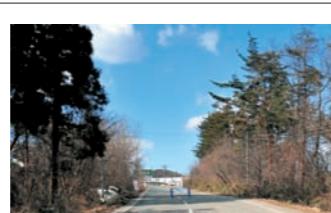
27 クラブ紹介
ほんたのつぶやき

28 くらしの情報

32 奥州遺産

3月11日
襲った東北地方太平洋沖地震
三陸沖を震源とするこの地震は
9.0といわれるものでの
写真は

〈今月の表紙〉





〈今月の表紙〉

3月11日、突然私たちを襲った東北地方太平洋沖地震。三陸沖を震源として発生したこの地震は、マグニチュード9.0という観測史上最大規模のものでした。

写真は、JA江刺園芸センターへ向かう道路を撮影したもの。アスファルトで舗装された道路が、大地を揺るがすさまじい力で引き裂かれていきました。地震の詳しい状況は、4月から始まる特集でお知らせします。

※4月7日発生の余震の影響で、本号とお知らせ版を合わせて発行します
※「まちの話題」「つながれ広がれNPOの輪」は休止します



すてきにポーズをきめた「一輪車クラブ・アルスノーバ」レッドシュガーズのメンバーと

華麗な技に挑む一輪車クラブ・アルスノーバのメンバー。指導者の裕美子さんは、彼女らに厳しいまなざしを向ける。高校時代は器械体操に打ち込む体操少女だった。「クラブでは、キャンディーズやピンク・レディーをよく踊つていた」と照れくさそうに青春時代を振り返る。高校卒業とともに上京。仕事をしながらバレエやジャズダンス、社交ダンスの教室へと通うダンス漬けの生活を送つていた。そんな日々も突然終わりを告げることになる。59年に家庭の事情からUターン。翌年に結婚し、三女の母となつた。

一輪車に出会つたのは平成10年。娘のクラブ加入がきっかけだつた。母として参加す

るつもりが、一輪車の魅力に引かれ、指導者への道を歩みだす。今では振り付けから衣装デザインまで手掛けるようになつた。「スピード感と、スピンドルなどの技が芸術性を広げる」とその魅力を語る。17年から全国大会に連続出場を続けるアルスノーバ。技術面とメンタル面の両立に悩み、「眠れない夜もあつた」と苦笑い。その試行錯誤の日々が一輪車競技の創成期から、現在のレベルにまで引き上げた『アルスノーバ』は、「新しい技への挑戦」の意味を持つ。「実は私、一輪車に乗れないものの。乗れる子が指導すれば、もっと技術が向上し、表現も豊かになる。それまでが自分の役目かな」と、裕美子さんは穏やかにほほ笑む。

A portrait photograph of Dr. Linda Li, a woman with short black hair and glasses, wearing a purple and grey jacket.

いわぶち・ゆみこ◎昭和35年前沢区字北久保生まれ。主婦。高校卒業後、上京。59年Uターン。平成12年から、一輪車クラブ・アルスノーバ指導者。家族は夫、3女、ネコ3匹とイヌ1匹。